

新型コロナウイルス感染症を田川で拡げないために

田川市 病院事業管理者 鴻江俊治
田川市立病院 病院長 松隈哲人

世界中に新型コロナウイルス感染症がまん延しています。田川市でも対策会議を頻繁に開催し、田川における発症を抑えようと努めています。

筑豊地域唯一の感染症指定医療機関である田川市立病院においても、職員一丸となって新型コロナウイルス感染症の発症予防・感染拡大抑制・患者治療に向け精一杯努めています。

市民の皆さんへのお願い



1 「自分を守り、他人を守り、田川を守りましょう」

新型コロナウイルス感染症に対し現時点で特效薬はありません。重症肺炎による呼吸不全を管理することが唯一の治療法です。したがって、感染拡大を阻止することが最も重要な方法です。

市民一人ひとりが裏面および「広報たがわ 5.1 号」4～7 ページに書いてあることを守り、田川にコロナウイルスを持ち込まないよう、また、拡散させないよう注意してください。

2 「通常の診療は安心して受診ください」

市立病院では、院内の衛生状態と職員の自覚・行動に大きな注意を払っています。

新型コロナウイルス感染症の診療と一般診療とは完全に分離して治療を行います。したがって、一般の患者さんは安心して受診いただけます。

3 「医療従事者とその家族を風評被害から守ってください」

田川市郡の病院や診療所に勤務する医療従事者は、自分が患者になったら、入院患者さんや同僚、家族にうつしたらどうなるか、感染症の脅威に不安を抱えながら使命感を支えに懸命に踏ん張って働いています。そのような医療従事者とその家族に対し、感染しているとみなす差別的扱いや誹謗・中傷は行わないでください。すでに当院の職員からも若干の報告を受けていますが、風評被害が少ない今のうちをお願いする次第です。

私達は新型コロナウイルス感染症と当面、闘い続けなければなりません。
市民一人ひとりの協力がとても大切です。よろしくお願いします。

